

第18 交通事故事件捜査

1 交通特殊事件

交通事故を偽装した保険金詐欺事件、運転免許証の不正取得事件、文書の偽変造事件及び事業活動から派生する自動車の使用者の義務違反事件等交通社会に潜在する悪質知能犯罪の検挙を重点とした捜査を推進した。

その結果は、次表のとおりである。

(1) 交通特殊事件等の検挙状況

罪 種 別	令和7年
交通保険金詐欺事件	15件
自動車の使用者の義務違反事件	17件
犯人隠避事件	35件
文書偽(変)造事件	11件
その他	269件
計	347件

注 その他(道路交通法違反教唆等事件・運転免許証不正取得事件など)

(2) 主要事件の検挙事例

○ 韓国人らによる道路運送法違反（自家用自動車による有償運送の禁止）被疑事件

所 属	中央警察署、福岡空港警察署、国際捜査課、交通機動隊及び交通捜査課
事件の概要	日本国内に居住する複数の韓国人が共謀の上、法定の除外理由がないのに、常習的に不特定の訪日韓国人観光客等の需要に応じ、運送料金を徴する契約の下、個人名義の自家用普通乗用自動車を使用して、同観光客等を大分県内の観光地等へ運送した道路運送法違反(自家用自動車による有償運送の禁止)被疑事件を検挙した。
罪 名 等	道路運送法違反(自家用自動車による有償運送の禁止)
被疑者数等	被疑者 5人(延べ人数)

○ 自動車検査員による道路運送車両法違反及び加重収賄等被疑事件

所 属	春日警察署、西警察署、粕屋警察署及び交通捜査課
事件の概要	旧車の所有者から依頼を受けた自動車検査員であった被疑者が、同車両について、不正に自動車検査証の有効期限を更新し、さらに、当該不正車検を仲介した他の共犯被疑者らから、自身が公務員とみなされる自動車検査員であると知りながら、その職務に関して不正をすることの見返りとして不法な報酬を受け取った、道路運送車両法違反(不正車検)及び加重収賄等被疑事件で、関係者を一斉検挙した。
罪 名 等	道路運送車両法違反(不正車検)、加重収賄、賄賂等
被疑者数等	被疑者 17人(延べ人数)

第18 交通事故事件捜査

2 ひき逃げ・不申告事件

注1 「ひき逃げ事件」とは、道路交通法第72条第1項前段の救護措置義務違反に係る交通事故をいう。

2 「不申告事件」とは、道路交通法第72条第1項後段の報告義務違反に係る交通事故をいう。

(1) ひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況等の年別推移

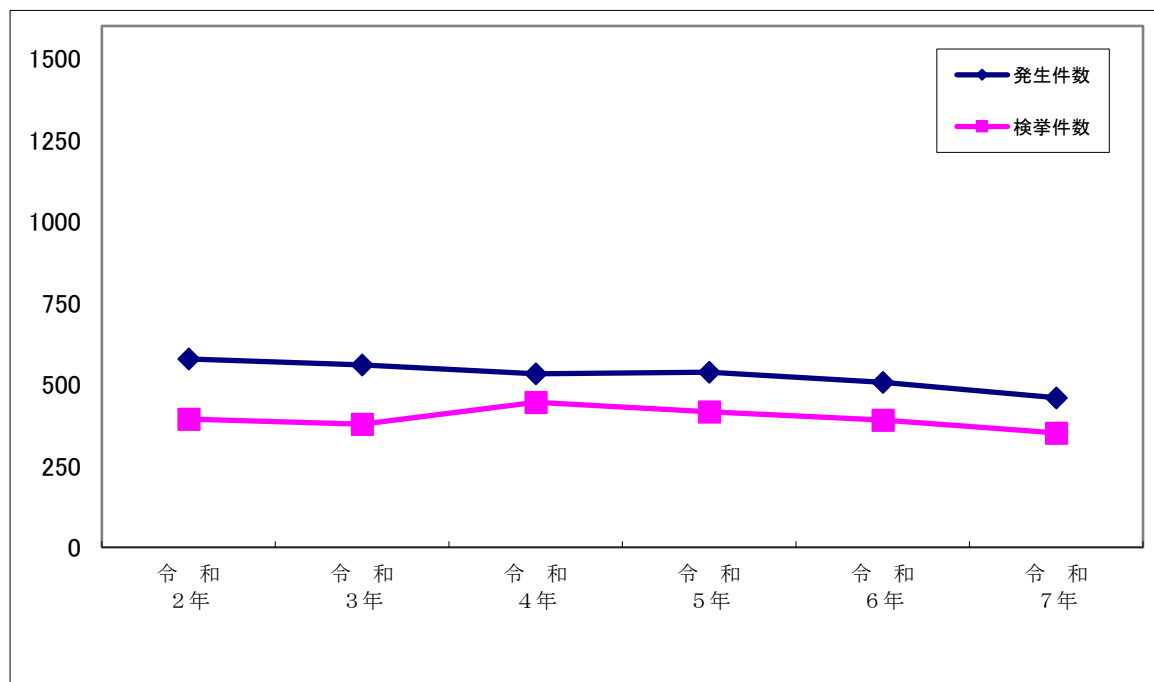
区 分	発生件数(件)			死亡ひき逃げ件数(件)			検挙件数(件)		
		対全事故 比率	指数		対全死亡 事故比率	指数		検挙率	指数
平成元年	1,216 (400)	3.4%	100	16	4.3%	100	1,062 (246)	87.3% (61.5%)	100
2年	1,032 (349)	3.1%	85	21	5.4%	131	882 (199)	85.5% (57.0%)	83
3年	1,025 (376)	3.0%	84	15	4.0%	94	879 (230)	85.8% (61.2%)	83
4年	900 (415)	2.5%	74	18	4.8%	113	729 (268)	81.0% (64.6%)	69
5年	734 (401)	2.0%	60	14	4.2%	88	533 (220)	72.6% (54.9%)	50
6年	727 (408)	1.9%	60	24	6.2%	150	521 (235)	71.7% (57.6%)	49
7年	675 (358)	1.7%	56	18	4.8%	113	488 (202)	72.3% (56.4%)	46
8年	803 (476)	1.9%	66	23	6.6%	144	474 (217)	59.0% (45.6%)	45
9年	877 (532)	1.9%	72	17	5.1%	106	494 (215)	56.3% (40.4%)	47
10年	1,073 (686)	2.2%	88	18	5.6%	113	500 (239)	46.6% (34.8%)	47
11年	895 (490)	1.8%	74	16	5.2%	100	481 (206)	53.7% (42.0%)	45
12年	976 (492)	1.9%	80	12	4.1%	75	532 (216)	54.5% (43.9%)	50
13年	942 (482)	1.9%	77	15	4.7%	94	508 (162)	53.9% (33.6%)	48
14年	951 (576)	1.9%	78	15	4.9%	94	544 (229)	57.2% (39.8%)	51
15年	1,493 (997)	2.9%	123	13	4.3%	81	587 (292)	39.3% (29.3%)	55
16年	1,694 (1,155)	3.3%	139	12	5.0%	75	544 (269)	32.1% (23.3%)	51
17年	1,976 (1,251)	3.8%	163	11	4.6%	69	691 (372)	35.0% (29.7%)	65
18年	1,860 (1,095)	3.7%	153	14	6.0%	88	741 (348)	39.8% (31.8%)	70
19年	1,427 (677)	3.1%	117	11	5.6%	69	697 (237)	48.8% (35.0%)	66
20年	1,479 (564)	3.3%	122	5	2.6%	31	756 (197)	51.1% (34.9%)	71
21年	1,267 (320)	2.9%	104	7	3.7%	44	595 (129)	47.0% (40.3%)	56
22年	1,151 (292)	2.6%	95	6	3.7%	38	589 (123)	51.2% (42.1%)	55
23年	1,153 (258)	2.7%	95	3	2.0%	19	548 (117)	47.5% (45.3%)	52
24年	1,068 (240)	2.5%	88	5	3.0%	31	489 (121)	45.8% (50.4%)	46
25年	1,067 (241)	2.4%	88	6	2.5%	38	538 (150)	50.4% (62.2%)	51
26年	982 (186)	2.4%	81	0	0.0%	0	492 (103)	50.1% (55.4%)	46
27年	913 (312)	2.3%	75	5	3.4%	31	494 (160)	54.1% (51.3%)	47
28年	890 (350)	2.4%	73	6	4.4%	38	490 (175)	55.1% (50.0%)	46
29年	880 (326)	2.5%	72	5	3.6%	31	546 (193)	62.0% (59.2%)	51
30年	716 (255)	2.3%	59	8	6.0%	50	469 (178)	65.5% (69.8%)	44
令和元年	625 (236)	2.3%	51	4	4.3%	25	421 (165)	67.4% (69.9%)	40
令和2年	578 (262)	2.7%	48	2	2.2%	13	393 (179)	68.0% (68.3%)	37
令和3年	560 (230)	2.8%	46	5	5.1%	31	378 (159)	67.5% (69.1%)	36
令和4年	532 (241)	2.7%	44	1	1.4%	6	445 (189)	83.6% (78.4%)	42
令和5年	537 (230)	2.7%	44	2	1.9%	13	416 (178)	77.5% (77.4%)	39
令和6年	506 (223)	2.7%	42	3	3.3%	19	390 (160)	77.1% (71.7%)	37
令和7年	459 (213)	2.6%	38	4	4.0%	25	351 (161)	76.5% (75.6%)	33

注1 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、平成元年の各件数を100とする。

第18 交通事故事件捜査

(2) 過去5年のひき逃げ・不申告事件発生・検挙状況



区 分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
発生件数	578	560	532	537	506	459
	(262)	(230)	(241)	(230)	(223)	(213)
	指数	100	97	92	93	88
死亡ひき逃げ件数	2	5	1	2	3	4
対全事故比率	2.7%	2.8%	2.7%	2.7%	2.7%	2.6%
検挙件数	393	378	445	416	390	351
	(179)	(159)	(189)	(178)	(160)	(161)
検挙率	68.0%	67.5%	83.6%	77.5%	77.1%	76.5%
	(68.3%)	(69.1%)	(78.4%)	(77.4%)	(71.7%)	(75.6%)

注1 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

2 「指数」は、令和2年の各件数を100とする。

第18 交通事故事件捜査

(3) 令和7年中のひき逃げ・不申告事件

ア ひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

ひき逃げ・不申告事件の発生件数は459件で、前年に比べ47件(9.3%)減少した。

検挙件数は351件で、検挙率は、76.5%と前年に比べ0.6ポイント減少した。

○ 令和7年中のひき逃げ・不申告事件の発生・検挙状況

区 分	発生件数	検挙件数	検挙率
死 亡 事 故	4 (4)	7 (6)	175.0% (150.0%)
重 傷 事 故	20 (16)	22 (18)	110.0% (112.5%)
軽 傷 事 故	435 (193)	322 (137)	74.0% (71.0%)
合 計	459 (213)	351 (161)	76.5% (75.6%)

注 表中の()内は、「ひき逃げ事件」を内数で表す。

○ ひき逃げ・不申告事件の前年比

検挙率は、前年発生し翌年検挙分も含む。

区 分		発 生			検 挙		
		令和7年	前年比	増減率	令和7年	検挙率	前年比 (ポイント)
ひ き 逃 げ	死 亡	4	+1	+33.3%	6	150.0%	+116.7
	重 傷	16	±0	±0.0%	18	112.5%	+50.0
	軽 傷	193	-11	-5.4%	137	71.0%	-2.0
	計	213	-10	-4.5%	161	75.6%	+3.9
不 申 告	死 亡	0	-1		1		±0.0
	重 傷	4	+2	+100.0%	4	100.0%	-100.0
	軽 傷	242	-38	-13.6%	185	76.4%	-4.2
	計	246	-37	-13.1%	190	77.2%	-4.1
合 計	死 亡	4	±0	±0.0%	7	175.0%	+150.0
	重 傷	20	+2	+11.1%	22	110.0%	+32.2
	軽 傷	435	-49	-10.1%	322	74.0%	-3.5
	計	459	-47	-9.3%	351	76.5%	-0.6

第18 交通事故事件捜査

イ 令和7年中のひき逃げ事件

注 構成率については四捨五入のため、各項目の合計は必ずしも100%とは限らない。

(ア) ひき逃げ事件の発生状況

○ 時間別発生状況

区 分		午 前						午 後						計
時 間 帯		00～02時	02～04時	04～06時	06～08時	08～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	
発生件数														
合 計		4	3	12	21	37	14	15	16	31	25	26	9	213
構 成 率		1.9%	1.4%	5.6%	9.9%	17.4%	6.6%	7.0%	7.5%	14.6%	11.7%	12.2%	4.2%	100.0%
内 訳	死 亡	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
	重 傷	1	1	3	0	3	1	0	0	0	4	2	1	16
	軽 傷	3	1	7	21	34	13	15	16	31	20	24	8	193

(イ) ひき逃げ事件検挙の端緒等

ひき逃げ事件検挙の端緒は、「検索」などの警察活動によるものが61件(37.9%)、「目撃者の通報」などの民間協力によるものが100件(62.1%)であった。
ひき逃げ事件の逃走動機は、「事故を起こしたことが恐ろしくなった」「ひき逃げ・あて逃げの事実否認」「事故を起こしたことに半信半疑であったから」の順であった。

○ 検挙の端緒別状況

端緒別 区分	警 察 活 動						民 間 協 力					合 計
	追跡・検問・職質	聞き込み	検 索	現場の遺留品等	そ の 他	小 計	目撃者の通報	目撃者等の追跡	被害者等の申告	そ の 他	小 計	
件 数	8	5	13	1	34	61	57	6	11	26	100	161
構 成 率	5.0%	3.1%	8.1%	0.6%	21.1%	37.9%	35.4%	3.7%	6.8%	16.1%	62.1%	100.0%

注 警察活動の「その他」とは、防犯カメラ映像解析など、民間協力の「その他」とは防犯カメラ映像の提供など。

○ ひき逃げ事件の逃走動機

・事故を起こしたことに恐ろしくなった	11.8%
・ひき逃げ・あて逃げの事実否認	11.8%
・事故を起こしたことに半信半疑であった	11.1%
・被害者の被害が大したことないと思ったから	8.7%
・その他	56.6%

注 「その他」とは、刑事処分又は行政処分を恐れたから、飲酒運転であったからなど。